

2024年4月からの 子どもの予防接種について

2024年4月より、子どもの予防接種において、新たなワクチンの導入や、新規の助成事業が開始されます。



1) 五種混合ワクチンの定期予防接種化

五種混合ワクチン（ゴービック®、クイントバック®）は、従来の百日せきや破傷風、ジフテリア、ポリオを予防する四種混合ワクチンにヘモフィルスインフルエンザ菌b型（Hib）の抗原成分を追加したワクチンです。このワクチンを使用することでワクチンの総接種回数を減らすことができ、乳幼児や保護者の負担軽減につながります。ただしHibワクチンと四種混合ワクチンで接種を開始している場合は、同一のワクチンで接種を完了することになっています。

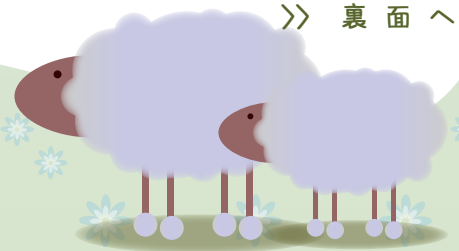
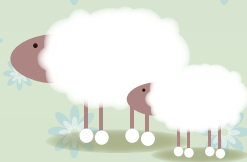
接種スケジュールなど詳しくは、当院HPの予防接種ページをご覧ください。

2) 小児用肺炎球菌ワクチンの変更

15価肺炎球菌結合型ワクチン（バクニューバンス®）は、これまで使用されていた13価肺炎球菌結合型ワクチン（プレベナー13®：血清型1、3、4、5、6A、6B、7F、9V、14、18C、19A、19F及び23F）に含まれる血清型に加え、新たに2種類の血清型（22Fおよび33F）を含むワクチンです。すでに13価ワクチンで接種を開始された方も15価ワクチンにより残りの接種回数を接種することができます。

接種スケジュールなど詳しくは、当院HPの予防接種ページをご覧ください。

>> 裏面へ



2024年4月からの 子どもの予防接種について

3) 男性へのHPVワクチン接種について

HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンは、これまで女性（小学6年生から高校1年生相当）を対象として定期接種が行われてきましたが、2020年12月から男性にも任意接種として4価HPVワクチンの接種が認められるようになりました。男性がワクチンを接種することで、HPVが原因となる中咽頭がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどの予防に効果が期待できます。加えて、性交渉によるHPV感染から女性を守り、ひいては子宮頸がんの予防にもつながります。目黒区では2024年4月より男性（目黒区内に住民登録がある小学6年生から高校1年生相当）への任意接種費用の助成事業が開始され、4価HPVワクチンで、3回（接種完了）まで接種費用全額が助成されます。

自治体によって接種費用の助成の有無、要件が異なります。
詳細はお住まいの自治体、接種する医療機関にご確認ください。

4) 今後の新型コロナワクチンについて

新型コロナワクチンの無料接種は、2024年3月31日までで終了となり、子どものワクチン接種は、4月以降任意接種となります。詳細につきましてはまだ明らかになっていません。

自由が丘メディカルプラザ 小児科
<http://www.jiyugaokamp.com/s>
TEL : 03-5731-3565

2024年3月18日
日本小児科学会認定専門医
日本感染症学会専門医
齋藤 義弘

